

産業建設委員会

委員長

高野 要

副委員長

岡野孝雄

委員

鈴木行雄

山本 進

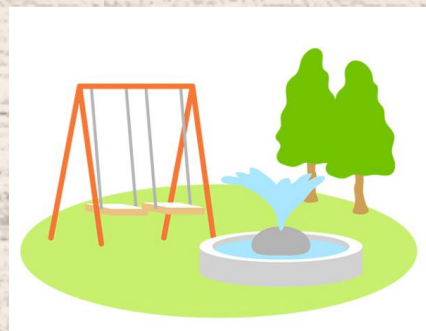
川井幸一

飯村一夫

鈴木康仁

産業建設委員会の所管事項

- ・産業建設委員会は、石岡駅周辺の整備をはじめ、生活環境、道路、下水道、公園などの整備や都市計画に関すること、農業や商工業の振興について調査・審査します。
- ・市役所の部署で言うと、市長直轄組織、生活環境部、経済部、都市建設部、農業委員会になります。



令和3年度 主な活動内容

委員会開催回数（令和3年12月末現在）

- ・ 経済建設消防委員会・・・3回
- ・ 産業建設委員会・・・8回

付託された議案の審査（第2回定例会、第3回定例会、第4回定例会）

- ・ 補正予算関係・・・8件
- ・ 条例関係・・・5件
- ・ その他議案（損害賠償、市道の認定など）・・・14件

全て原案可決又は認定すべきものと決しました。

所管事務の調査

- ・ 駅周辺整備事業について（複合文化施設）
- ・ 盛土等について
- ・ 申請ナビシステム導入事業について
- ・ 国民健康保険における賦課方式の統一について
- ・ 有害鳥獣対策期間の実績について
- ・ （仮称）上曽トンネル整備事業について など

請願・陳情の審査

- ・ 請願 1件（不採択）

複合文化施設について

複合文化施設について

令和2年3月に石岡市民会館が閉館し、代わりとなる文化・芸術の中心となるべき建物として、「複合文化施設」の建設が進められています。

経過

1 イベント広場における図書館を中心とした複合文化施設について

平成16年 石岡市中心市街地活性化プラン推進委員会

平成18年 石岡市複合文化施設に関する基本構想策定

平成19年 石岡市複合文化施設に関する基本設計作成

2 市民会館を中心とした複合文化施設について

令和2年3月 石岡市民会館閉館

令和2年5月 市役所内で「複合施設検討プロジェクトチーム」設置

令和3年4月 駅周辺にぎわい創生課の新設

令和3年5月 基礎調査業務委託の一環として「プレ・サウンディング調査」を実施

令和3年6月～ 複合文化施設に係る基本計画（案）の検討

複合文化施設について

基本計画策定に向けて

官民連携事業（PPP・PFI事業）の可能性を積極的に活用する。

→ 最小の経費で最大効果を得られる条件・環境づくり

スケジュール ※手法によっては、スケジュールが前後いたします。

令和2年から3年度・・・基礎調査（基本構想・基本計画）

令和4年度・・・入札・審査・契約 又は 基本設計・実施設計など

令和5年から6年度・・・建設整備

令和7年度・・・供用開始

複合化を検討する施設（機能）

現施設（機能）	新施設（機能）
1 市民会館（文化芸術活動） 2 中央図書館（こども図書館を含む。） 3 児童館（R3.12.9～使用中止） 4 杉並コミュニティセンター 5 勤労青少年ホーム（体育館を除く。） 6 情報発信に関する機能	・コ・ワーキングスペース ・体感型観光PR施設 ・民間事業者による提案事業 （施設利用者サービス向上につながる機能、子育て支援など）

複合文化施設について

候補地の検討

駅東地区

面積：約7,736㎡

※市営駅東駐車場（6,900㎡）も一体的に活用

メリット

- ・ 駅から近い（公共交通機関の利用促進）
- ・ 市外からの集客
- ・ 石岡市のPRの促進



イベント広場

面積：約27,000㎡

メリット

- ・ 駐車スペースの確保
- ・ 建築面積に余裕がある
- ・ 観光バスの受け入れ可



プレサウンディング調査の結果では、概ねの事業者が駅東地区の方が望ましいとの回答

複合文化施設について

複合文化施設建設に当たっての課題

共通課題	
・ 渋滞の発生（道路環境の整備） ・ 複合化する施設の内容 ・ 利用者増への取り組み ・ 中心市街地活性化への取り組み ・ 参入する事業者の経営安定性の確認	
駅東地区の場合	イベント広場の場合
・ 中心市街地への人の流れ ・ 駐車スペースの確保	・ 今後の利活用方法 ・ 公共交通利用者への対応



建設場所の選定は、最も重要なポイントとなります。

執行部からの進捗状況を把握し、よりよい施設となるよう
他自治体の先行事例や現状などを調査し、協議を進めてまいります。

(仮称) 上曽トンネル整備事業について

(仮称) 上曽トンネル整備事業

石岡市と筑西市を結ぶ主要地方道石岡筑西線のうち、筑波山麓を通る上曽峠区間は、狭小な幅員や急こう配に加え、冬季には積雪・路面凍結による通行止めが発生するなど、大変利便性の低い道路状況となっています。



同箇所整備のため、石岡市議会では平成27年度に「主要地方道石岡筑西線上曽トンネルの早期完成を求める決議」、平成28年度に「主要地方道石岡筑西線上曽トンネルの早期着工を求める決議」を決議するなど、事業の推進を求めてきました。

主要地方道石岡筑西線上曽トンネルの早期完成を求める決議

主要地方道石岡筑西線は、県西地域の筑西市と県南地域の石岡市を結び、さらに茨城空港、鹿島港など県内主要地域間の連携のために重要な主要幹線道路である。本線には、筑波山麓を通る上曽峠があり、幅員狭小や急勾配に加え、冬季には積雪や路面凍結により通行止めが生じるなど、交通に不便をきたしている状況にある。

これを解消するため、上曽トンネルの建設を含む道路整備計画が策定され、平成13年度に事業に着手されたところである。現在まで桜川市、石岡市の両市側においてトンネルの取り付け道路の整備に着手されているものの、トンネル本体については、用地取得等の課題もあり、未だ工事の着工に至らない状況である。]

このような中、茨城県議会においては、桜川市、石岡市それぞれ住民から上曽トンネルの早期着工を求める請願が提出され、平成26年第4回定例会、平成27年第1回定例会において、いずれの請願も採択されたところである。

この上曽トンネルの完成は、利用者の安全性と沿線地域の利便性の向上はもとより、農業、商工業など産業活動の発展に加え、県西・県南地域間の連携の強化、交流の拡大が見込まれ、当市を含む沿線地域、さらに本県の発展に大きく寄与すると確信するものである。

よって、石岡市議会は、トンネル早期着工に係る諸問題の解決、そして上曽トンネルの早期完成へ向け、議会としての立場から全力をもって努力することをここに決議する。

平成27年12月17日

石岡市議会

主要地方道石岡筑西線上曽トンネルの早期着工を求める決議

石岡市議会は、平成27年第4回定例会において、主要地方道石岡筑西線上曽トンネルの早期完成を求める決議を行った。しかし、現状は、依然として工事着工に至らない状況である。

平成13年度の事業採択から、すでに15年が経過し、この間、茨城空港の開港など、周辺の状況は大きく変化を遂げている中で、石岡市のみならず茨城県全体の発展のためにも、一刻も早い整備が望まれるものである。

地域の長年の希望であった朝日トンネルが平成24年に開通し、「ひと・もの」の交流を拡大させ、観光面を含め、地域経済に大きな効果をもたらしている。この朝日トンネルの整備においては、石岡市と土浦市が、合併特例債を活用し、県の助成、さらに国の道整備交付金を活用し、完成させた経緯がある。

現在、上曽トンネルの整備を含む主要地方道石岡筑西線整備事業は、新市建設計画において、県の推進事業として位置づけられているが、県における財政状況を踏まえ、朝日トンネル同様に、合併特例債を活用し、完成を目指すことが現実的である。

この上曽トンネルの完成によって、石岡市は交通の要衝となり、農業・商工業など産業活動の発展はもとより、県西・県南地域間の連携強化、交流の拡大が見込まれ、当市の発展に大きく寄与すると確信するものである。

よって、石岡市議会は、上曽トンネルの整備にあたり合併特例債を活用した整備手法について、桜川市との協議検討を推し進め、早期着工に向けた一刻も早い決断を求めるものである。

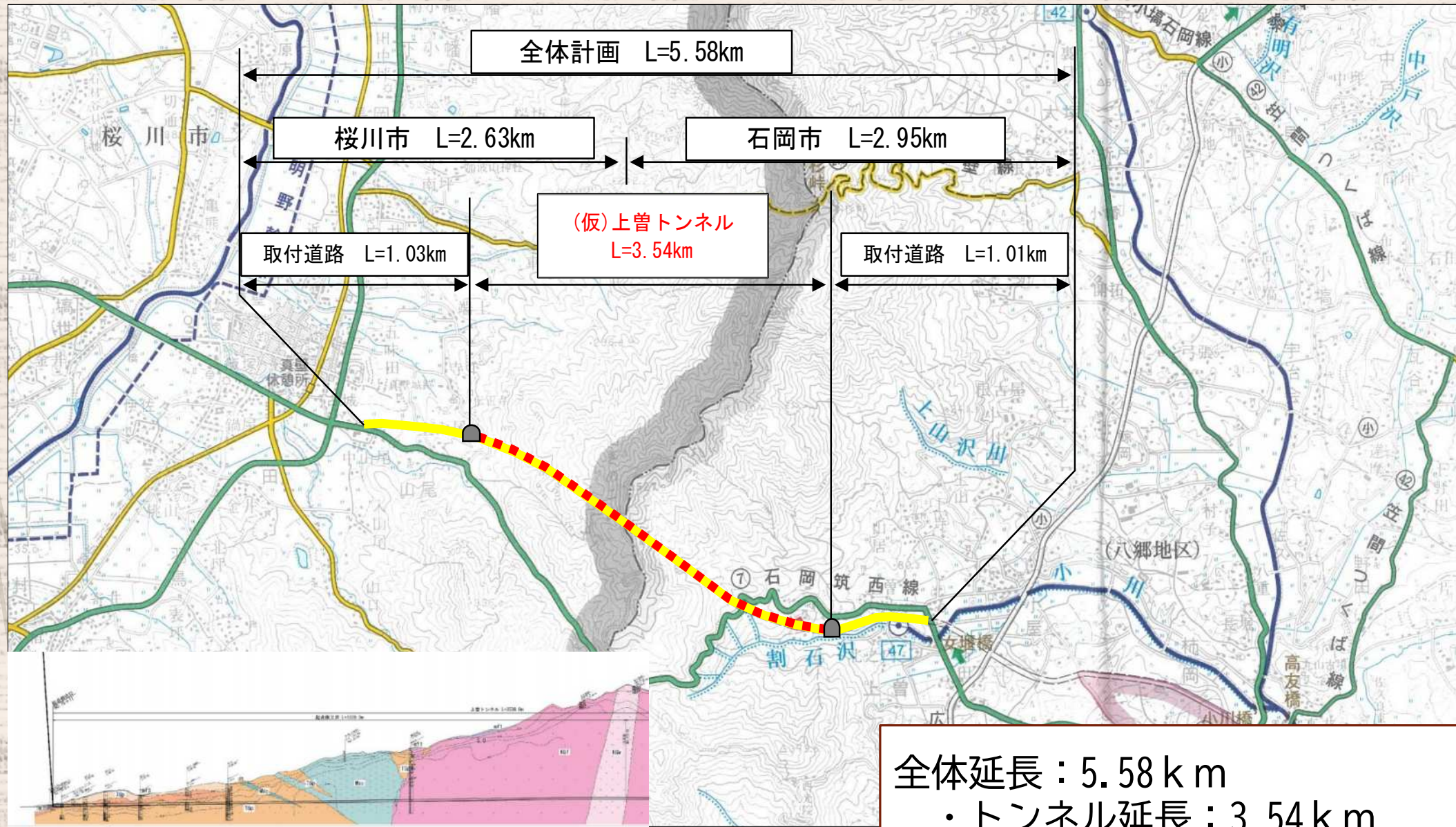
以上、決議する。

平成28年6月24日

石岡市議会

この結果、平成29年度には、上曽トンネル整備事業調整協議会が発足。同区間を合併特例債を活用した市道として整備する方向で協議を進め、平成30年度には茨城県と整備に関する工事委託契約が結ばれました。

(仮称) 上曽トンネル整備事業



(仮称) 上曽トンネル整備事業

前年度までの調査内容

- 1 令和元年度第2回経済建設消防委員会（令和元年6月24日）
概算事業費（123億円（うち石岡市分事業費、71億円））の報告
平成30年度委託契約分の工事が発注されたことの報告
- 2 令和元年度第6回経済建設消防委員会（令和元年12月17日）
整備事業の工事委託契約の一部変更議案の審査
※茨城県の今年度事業費が確定したことに伴う契約変更）
- 3 令和2年度第1回経済建設消防委員会（令和2年4月15日）
今年度事業の説明で工事委託費など10億150万円が計上
- 4 令和2年度第3回経済建設消防委員会（令和2年6月16日）
令和2年度分の上曽トンネル整備に係る工事委託契約の議案を審査
- 5 令和2年度第8回経済建設消防委員会（令和2年12月15日）
上曽トンネル整備の進捗状況を確認・現地調査を実施

(仮称) 上曽トンネル整備事業

令和3年度第3回経済建設消防委員会（令和3年6月22日）

令和3年度分の上曽トンネル整備に係る工事委託契約の議案を審査

- ・本年度の主な事業内容

掘削、支保工の建て込み、ロックボルトの打設、土の搬出など

令和3年度第6回産業建設委員会（令和3年10月15日）

上曽トンネル整備の現地調査



(仮称) 上曽トンネル整備事業

現在の上曽トンネル整備状況

24時間体制で、発破掘削作業・土の運搬作業が行われています。
令和3年12月22日現在、約360m施工

上曽トンネル完成に向けての課題

- ・周辺道路（取付道路）の安全確保
- ・交通量増加に伴う周辺道路の整備
- ・夜間工事に伴う騒音防止



施設の早期完成だけを目標にするのではなく、
施設が出来上がった後のことも考え、石岡市が
交通の要衝となることを踏まえ、計画的な整備
を進めるよう執行部との調整を図ります。

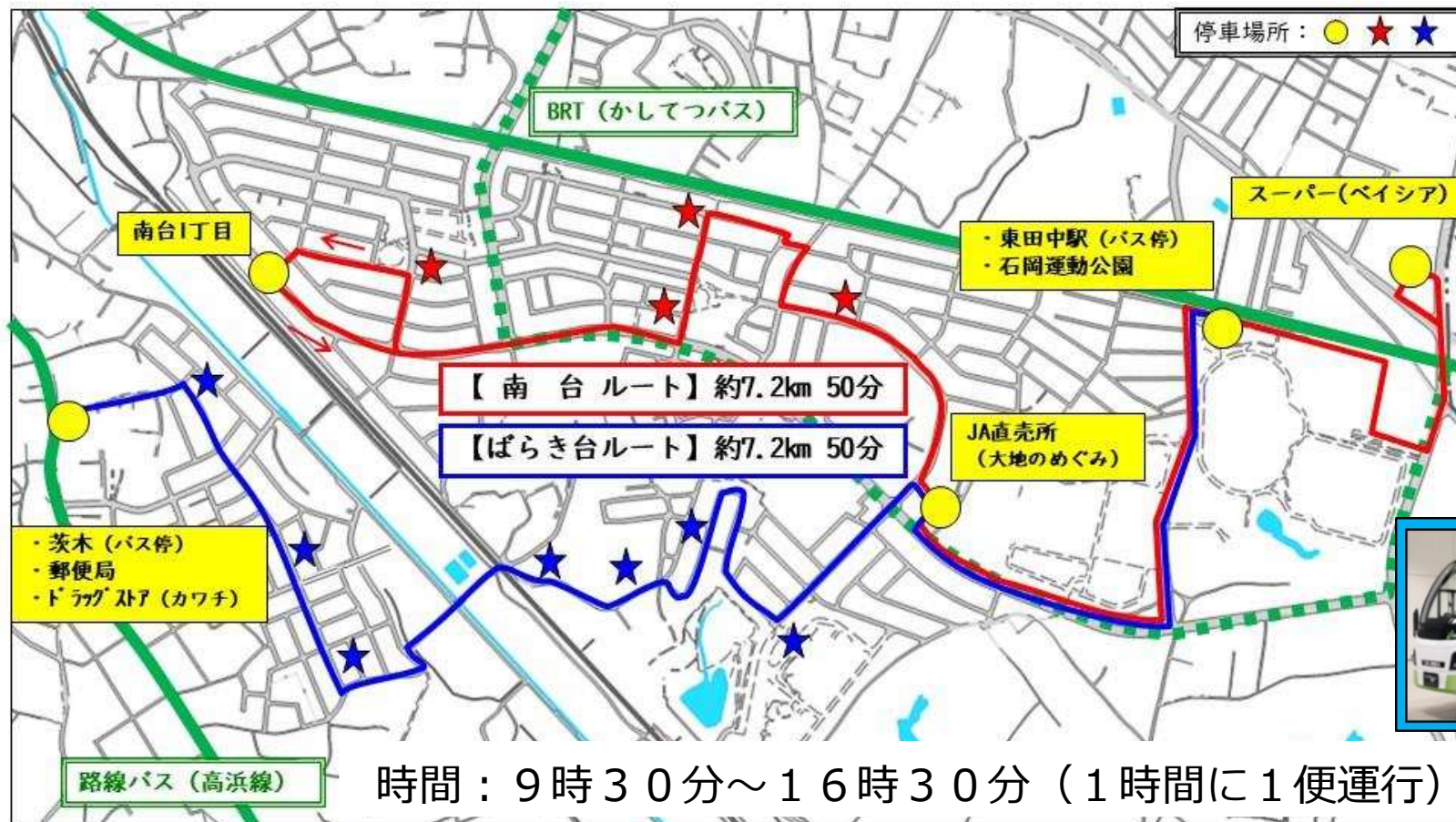


グリーンスローモビリティ実証実験について

令和元年度に視察を行った次世代交通対策事業について、石岡市でもグリーンスローモビリティ（電動で、20km未満で行動を走るモビリティ）の実証実験が行われました。

交通弱者対策、外出機会の創出など、当委員会でも導入に向けて要望してきました。

- 南台ルート 【11/10（水）～11/18（木）】
○ ばらき台ルート 【11/19（金）～11/28（日）】



グリーンスローモビリティ実証実験について

実証実験の結果

事項	乗車人数（人）
南台ルート	3 8 6
ばらき台ルート	6 3 5
合計	1,0 2 1

意見（抜粋）	
車両に関すること	・乗降時のステップが高い ・バリアフリーにしてほしい
ルート・ダイヤに関すること	・降りたい場所で降車できると便利 ・観光地巡りにもいい
料金に関すること	・高齢者などは無料にしてほしい ・低料金での導入を希望
その他	・小さな子供がいるので公園利用にもいい

今回の実証実験でのアンケートの結果、「今までにない乗り物で興味があるから乗った」との意見などもありますが、「地域に必要な乗り物だ」と考える方も40%いました。

国などの動向などに注意しながら、今後とも実証実験を重ね、本格的に導入ができるよう進めてまいります。